

## セミナーレポート

Economy × Energy 2018.12.15 (土)

松山大学で「経済とエネルギー」をテーマにセミナー＆トークセッションを開催しました。松山大学経営学部、愛媛大学の学生を中心に、約110名の参加がありました。当日の様子を開催レポートにまとめました。

第1部

セミナー



エコノミスト・BRICs 経済研究所代表

門倉貴史氏



門倉さんが経済学の視点で読み解いた「ホンマでつか!?」な理論や法則をお話しいただきました。

### 習慣・ジンクスに関する話

エロティックな刺激で予知能力が高まる？

13日の金曜は本当に不吉？

### 投資に関する話

投資で成功する男性の身体的特徴とは？

女性と男ではどちらが投資成功しやすいのか？

### 経済効果に関する話

「君の名は。」意外な経済効果とは？

2019年ラグビーW杯の経済効果は？

### 働き方・モチベーションに関する話

印象に残った  
No.3

♦ モチベーションが上がる曜日とは？

♦ これからの時代におススメの副業とは？

### 経済とエネルギーに関する話

印象に残った  
No.2

♦ 経済もエネルギーもリスク分散がカギ



### 参加者の感想

- 経済学をもっと学びたくなるような内容だった
- 身近なことを経済学と結び付けて考えることは面白いと思った



# セミナーレポート

## 第2部

## トークセッション

やのひろみ氏（フリーパーソナリティー）×門倉貴史氏



### これから電気料金はどうなるの？

**やの氏** 私たちが毎月支払っている電気料金の内訳ってどうなっているのでしょうか？

**門倉氏** 電気料金の内訳を見てもらうと、燃料費と書かれています。この燃料費が電気料金を変動させる要因となっています。火力発電の燃料となる化石燃料（石油や石炭、天然ガス）の燃料費が電気料金に含まれているんです。日本の場合、**化石燃料のほとんどを海外からの輸入に頼っているので、化石燃料の国際相場によって燃料費が変動するようになっています。**

**やの氏** 電気料金の内訳を見ると、再生可能エネルギーの賦課金と書かれているのですが、これは何ですか。

**門倉氏** 再生可能エネルギーは二酸化炭素を排出しないため、クリーンなエネルギーとして注目されていますが、再生可能エネルギーを普及させるため、**再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が高く買い取ることになっているのですが、国民の皆さんには、その費用を電気料金の一部として賦課金という項目で負担してもらっています。**

**やの氏** その金額は、これからどうなりそうなのでしょうか。

**門倉氏** この金額は、まだまだ上がっていくことが予想されています。環境省の試算では、毎月1,000円くらいの負担額が増えていくのではないかと言われています。ドイツやデンマークは、再生可能エネルギーを普及させるため、火力発電から再生可能エネルギーにシフトさせようとしているのですが、電気料金がとんでもなく上がってきているので、国民の負担が増えてきています。

**やの氏** 再生可能エネルギーをどんどん増やしていくと、国民の負担が増えるという問題があるわけですね。電気は生活には欠かせないものですが、この電気、エネルギーをどのように確保していったらよいのでしょうか。

**門倉氏** 例えば、投資をする場合、株とか債権とか現金預金とか不動産にバランス良く投資をしていくことが非常に重要なわれています。エネルギーの場合もそれと全く同じ考え方できます。ひとつのエネルギーに頼るというのは非常にリスクが大きいということから、火力発電だけに頼ることになると、海外から燃料を輸入しているので、海外で何かあった時に燃料価格が上昇しやすいという問題があります。それから再生可能エネルギーだけに頼るといった場合、投資コストがそれなりにかかるので、電気料金に影響してしまうということなので、やはり複数のエネルギーを分散して使っていくというエネルギー・ミックスの考え方が非常に重要なになってきます。**リスクを分散するという意味で、原子力発電、再生可能エネルギー、それから火力発電をうまく組み合わせて使っていくことが重要です。**



#### 参加者の感想

- 何気なく見ていた電気代の見方がかわると思う
- 普段考える機会が少ないが必需品である電気について考えることができて良かった
- 貴重な話を多く聞くことができ、エネルギー問題に関しては特に自分の生活にも関わることだったため、多くの知識を得られて今後に役立てたいと感じた

